

世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム

交通死傷ゼロへの提言

WORLD DAY OF REMEMBRANCE FOR ROAD TRAFFIC VICTIMS



ポルトガルにおけるキャンドル点火の様子
© Pedro Costa/Lusa

11月13日(金)

18:00 ~ 20:30

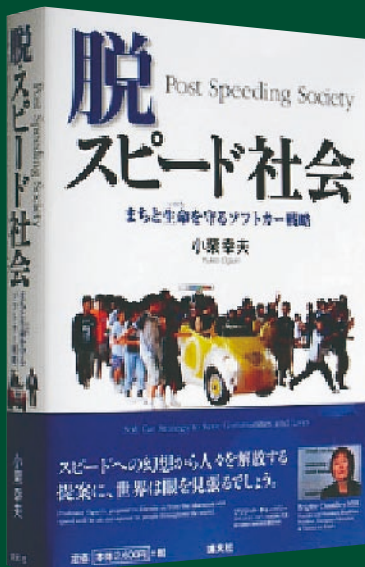
かでの2・7 4階大会議室

札幌市中央区北2西7

入場無料



国連が提唱した「世界道路交通犠牲者の日」に連帯し、毎年世界で120万人の死者という道路交通被害者を追悼するとともに、悲劇を繰り返さず、被害ゼロのため、幻想としてのクルマがもたらすスピード社会を問い直します。



ゼロへの提言 記念講演 小栗 幸夫氏 (千葉商科大学教授)

いのち まちと生命を守る「脱・スピード社会」を

～ 北海道から世界へ、悲しみを希望に ～

「私は、このような歴史的な転換点だからこそ、自動車のスピードについてオープンに語らねばならないと思う。自動車のスピードと、それを重視した道路整備の巨大な犠牲に眼を向けるべきである。犠牲にまっすぐ眼を向け、それを克服しようとしたとき、自動車の未来が開け、自動車を歩行者や他の交通手段と調和的に使うまちや、犠牲を伴わない本来あるべき社会の未来像が見えてくるのではないか。」

(小栗幸夫著「脱・スピード社会」(清文社)「はじめに」より)

コーディネーター：山本 純氏(札幌学院大学教授)

ゼロへの願い 被害者からのメッセージ

★「息子は意識も戻らないまま、小さな体で闘っています」…小学1年生でクルマに轢かれ、寝たきりとなった米内隆輔君(稚内市)の報道映像による声なき訴え。

★飲酒運転・ひき逃げの悪質交通犯罪で高校生の息子を奪われて…江別市 高石洋子

ゼロへの誓い 関係機関より報告

後援：北海道・北海道警察・札幌市

協力：交通権学会北海道部会・クルマ社会を問い直す会・道はだれのもの？札幌21・スローライフ交通教育の会

主催：北海道交通事故被害者の会

(札幌市中央区北1条西9丁目 ノースキャピタルビル4階 Tel.011-233-5130)

